



## 編集部からのご挨拶

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの流行が発端となり、生活仕様や仕事の仕方・業務形態などに大きな変化をもたらしました。

まだまだ終息が見えない中、世界中の経済環境は大きな打撃を受けている一方、日本では、景気の鏡とも言われる日経平均株価が「バブル景気」以降、約30年ぶりの高値で大納会を迎えました。これには投資対象を国債などから株式に移行した余剰資金に支えられた「コロナバブル」と称する声も聞こえてきます。

日本において、コロナ禍の影響が大きい分野は飲食業に集中しており、特に個人事業主や非上場の中小企業が経営する飲食店でした。政策支援があったとはいえ、閑散とした飲食店や、飲食店の閉店を知らせる張り紙は、コロナ不況を象徴とする光景となった一方で、ワクチンの開発が進むなど、わずかながら明るい兆しもあります。

本年も、昨年に引き続いて、対策に追われる一年になるかと思われませんが、オーナーの皆さまには、是非ともご自分自身とご家族や周囲の大切な方々を守りながら、健やかな日々を過ごして頂ければと思います。

最後に、新型コロナウイルスの感染防止や拡大阻止のためにできることを一人一人が実践し、コロナ禍を共に乗り越え、穏やかな日常が再び訪れる事をお祈り申し上げます。



## センター写真館



冬の西伊豆土肥にて  
斜陽のあまりの美しさに、思わず  
一枚撮りました！ 撮影者／内田

## リビングセンター通信～絆～vol2の内容

1. 編集部からのご挨拶
2. センター写真館／センター社員がゆく先々で収めた渾身のワンショットをご紹介します。
3. 不動産トピックス／最新の賃貸業界動向をご報告します。

発行/リビングセンター通信編集部  
担当：山口・内田  
リビングセンター通信に対するお問い合わせは  
TEL03-5713-0356

# 不動産トピックス

## 「2020年新型コロナによる賃貸不動産仲介会社への影響調査」の結果を公表

資料出典:リーシング・マネジメント・コンサルティング株式会社

※本データは、2020年6月4日(木)～6月18日(木)の期間に実施された首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)所在の賃貸不動産仲介店舗211社に対するアンケートと2020年11月20日(金)～12月18日(金)の期間に実施された首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)所在の賃貸不動産仲介店舗325社に対するアンケートをもとに集計しております。

「2020年新型コロナによる賃貸不動産仲介会社への影響調査」の結果が公表されました。コロナの影響で、より求められるようになった、賃貸物件の設備や仕様についての興味深いデータがわかりました。

### 【ニーズが高かった主な設備】

1位は通信速度の速いインターネット環境でありました。NTTのインターネット光Bフレッツや、ソニーのNURO光、ケーブルTV系光などの光回線インターネットサービスが、今では多くの家庭で利用されており、まさに総光回線時代に突入している事を裏付ける結果となっています。

4位の宅配BOXは、もともと設置がなかったアパートなどに、後付けで設置されるオーナー様も増えてきており、導入後は、宅配便の受取を配達者と顔を合わすことなく、受け渡しができる事への喜びの声もよせられております。

★上記のインターネット光設備や宅配BOXは、後付けでも比較的簡単に導入が可能です。オーナー様もご興味があれば、リビングセンターにて無料で導入可否の調査をおこなうことができます。どうぞ、お気軽にお知らせください。

#### ■ 個別設備や仕様に対するニーズ (図表⑥)

Q. 新型コロナの影響でより求められるようになった設備や仕様を教えてください。※複数回答有

ネット環境や面積の広さ、防音性を重視するといった項目が上位を占め、テレワークの想定や物件そのものの質を重視する傾向が見受けられる。

図表⑥

